



第 11 号様式(第 16 条関係)

補助事業等実績報告書

令和6年 2月 29日

(宛先)
戸田市長

補助事業者
住所又は所在地
氏名又は団体名 ねこちゃんず8
及び代表者氏名 代表 白川 尚美

戸田市補助金等交付規則の規定により、次のとおり報告します。

交付決定年月日	令和5年7月3日	交付番号	19
補助年度	令和5年度	補助金等の名称	戸田市共創のまちづくり補助金
補助事業等の名称	目指せ!「戸田市・野良猫ゼロ」活動 ～人と猫が共存するまちづくり～		
補助事業等の 施行場所	保護猫ステーション (戸田市中町 1-34-10)		
着手年月日	令和5年4月1日	完了年月日	令和6年2月29日
補助金等の交付決定通知額		500,000円	
補助金等の既交付額		500,000円	
補助事業等の補助対象事業費		907,372円	
補助事業等の 経過及び内容	保護猫ステーションの運営、野良猫、地域猫の保護譲渡、TNR、 セミナー、啓発活動、他		
添付書類 1 戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書 2 啓発活動のチラシ 3 活動報告写真 4 動画			

令和6年2月29日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（単独、団体協働事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 ねこちゃんず8
 代表者職・氏名 代表 白川 尚美
 所在地

補助種別	<input type="checkbox"/> 単独事業補助 <input checked="" type="checkbox"/> 団体協働事業補助	
事業名	目指せ！「戸田市・野良猫ゼロ」活動 ～人と猫が共存するまちづくり～	
新規・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 継続（ 年目）
実施期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年2月29日	

1 事業の具体的内容及び成果

<内容>

当事業は、野良猫の殺処分ゼロを最終的な目的としています。

市民からの保護依頼を受けて、子猫や野良猫を捕獲し、必要な医療や去勢・避妊手術を行います。去勢・避妊手術を行った猫は地域猫としてリターンすることや、リターンせずに家猫にしていくことは、地域の猫を減らし繁殖のコントロールや環境被害の緩和が期待できます。

特に、今年度の一番大きな事業として、市内初の保護猫ステーションを開設しました。この保護猫ステーションは、猫が安心して生活できる環境と、正しい飼育について学び、猫と人が交流できる場所となることを目的に開設しました。

この施設をとおして、保護猫を迎えたい方や、猫は飼えないが保護猫活動に触れてみたい・参加したい方など、開設から332人（譲渡会151名・イベント・セミナー80名・捕獲飼育相談71名・支援物資他30名）の方に来場いただきました。

事業全体の具体的内容としては次のとおりです。

捕獲→保護

市民からの依頼を受けて捕獲を実施しました。約30箇所（市内21・市外9）118頭（市内96・市外22）捕獲し、必要な医療を実施しました。

必要な医療

必須医療として、TNRは避妊・去勢手術の他、随胎処置、病気の蔓延予防のためのワクチン接種・ノミダニ駆除・駆虫をします。また流行り病や怪我をしている場合は、その治療を行い、リターンします。また、保護施設に迎える場合は、ワクチン接種、病気に感染していないか確認するためのウイルス検査・検便、ノミダニ駆除薬の投与（貧血防止）、怪我予防のための爪切りなどを行いました。特

に子猫については、譲渡先を見つける場合に必須となる治療です。

猫へのマイクロチップ装着については、もし脱走した場合でも飼い主の元へ戻ることができるため、そして殺処分の対象にならないよう譲渡時に装着しました。また子猫の場合は去勢・避妊手術時に装着するケースが多いため、譲渡誓約書に承諾のサインをいただき、マイクロチップ装着促進の徹底をしました。

(TNR) 手術・予防医療 29 件

治療医療 1 件

(保護) マイクロチップ 29 件 (補助対象経費)

去勢・避妊手術 16 件 (補助対象外経費)

初期医療 99 件 (ワクチン、ウイルス検査、ノミダニ駆虫、爪切り)

合計 128 頭に必要な医療を行いました。

(うち 30 頭はリリース※主に環境課の補助金を活用しています)

人馴れ訓練

必要な医療後、ホームベースや、預かりボランティア宅で、野良猫から家で生活できる、「人に慣れた猫」になるように訓練をします。具体的には給餌やトイレ掃除で信頼関係を築き、少しずつ触れ合いを持ち、人の手で撫でられるようになるまで距離を縮め、人間への恐怖心をなくしていく訓練を毎日行いました。結果的に人間への恐怖心がなくなり、撫でることが可能になった猫は、保護猫ステーションに移動します。

里親探し

令和 5 年 4 月から開設準備を行い、令和 5 年 6 月に保護猫ステーションを開設しました。保護猫ステーションでは、里親募集や保護猫活動の周知、セミナーを開催しました。

保護猫ステーション来場者数 332 人

<セミナー開催実績>

- ① 日時：6 月 2 2 日 (保護猫ステーション開設日) 場所：保護猫ステーション
参加人数：20 名 対象者：一般市民・関係者・ボランティアスタッフ
テーマ：捕獲・保護～譲渡までの活動の紹介、市民にできる保護猫活動とは？
- ② 日時：11 月 25 日 場所：保護猫ステーション
参加人数：10 名 対象者：里親さん・ボランティアスタッフ
テーマ：保護猫の習性と飼育方法

<里親探し>

里親募集は、里親募集サイト・ブログ・インスタグラム・チラシをとおして申込みがありました。

譲渡会は、ねこちゃんず 8・22 回、ピコ 22・14 回 開催しました。

譲渡数 合計 70 頭 (成猫 26 頭・子猫 44 頭)

譲渡

譲渡先へのアフターフォローとして、爪切りや洗濯ネット (病院への搬送用) の扱い方、人慣らしの方法やフード等の相談を随時受けています。なお里親さまだけでなく、地域の方からも同様の相談を受けています。

<イベント>

保護猫活動周知のためのチャリティーイベントを令和 6 年 2 月 1 1 日に開催しました。イベント内では、動物病院の獣医師から「猫を家族に迎えること」として保護猫に関するセミナーを行い、団体ブースでは、保護猫活動の周知や里親募集等を行いました。

来場者 約 500 人 (イベント全体)、セミナー参加者 約 50 人

<多頭飼育崩壊現場への指導について>

市民からの相談や捕獲の依頼があった際に聞き取りを行います。どのくらいの期間今の状態なのか、猫は何匹か、手術の有無、飼育環境なども見せていただき、飼育のアドバイスや、10匹以上飼育している場合は埼玉県に多頭飼育の届け出をしてもらうよう促しました。

<保護猫ステーションを利用した方の感想>

- ・保護猫活動について学ぶ良い機会になった。
- ・飼い猫をなくしたばかりで落ち込んでいたが、猫に触れてとても癒された。
- ・地域猫と野良猫の違いが分かった。
- ・捕獲した後どのような流れで医療を行うのか、また費用面も勉強になった。
- ・野良猫を自宅へ招き入れたが慣れず困っていたので助かった。
- ・エサやりさんと近隣の方のトラブルを解決できてよかった。

というお声をいただき、保護猫活動へのご理解をいただきました。

<成果>

猫を捕獲する際は、地域の方からの相談を受け、餌やり・見張り・見守り捕獲の手伝いなどをおして協力しながら野良猫の捕獲をすることができました。その際に活動の内容等もお話しすることで、地域猫への理解を深めることができたと感じています。

また、捕獲依頼の中には、野良ではない迷い猫(飼い猫)も多く、依頼主や近隣の方と協力して飼い主探しや捕獲のお手伝いに参加してもらいました。

保護猫ステーションを開設したことで団体の周知が進み、一般市民の方からの相談を多くいただきました。市民の方は地域にいる猫が「管理なく繁殖した猫」か、「去勢・避妊手術を行った猫」なのか見分がつきません。さらに子猫が増えると、猫が増えて環境被害(鳴き声や糞尿被害等)を受けてしまいます。そんな時に、当団体にご相談をいただきました。

捕獲した猫は、去勢避妊手術が済んでいない場合は手術を行い、病気や怪我がない元気な猫はリターンします。しかし、明らかな飼い猫や一匹では生きていけない子猫、怪我・病気のために治療が必要な猫、元の場所にリターンできる環境ではない猫(多頭飼育の場合など)は保護猫となり譲渡につなげます。

本事業は保護猫たちが、家猫として里親に譲渡できる新しいルートとなり、人と猫が共に暮らす社会の一步につながりました。捕獲した猫をリターンせずに、家猫にしていくことは地域の猫を減らし、戸田市民の方の環境被害を減らすことだと考えています。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
4 月	定例会、譲渡会、TNR、保護、譲渡
5 月	TNR、保護、譲渡、保護猫ステーションプレオープン
6 月	保護猫ステーション開設、オープンイベント開催、セミナー 啓発活動、譲渡会、TNR、保護、譲渡

7月	譲渡会、TNR、保護、譲渡
8月	譲渡会、TNR、保護、譲渡
9月	譲渡会、TNR、保護、譲渡、イベント参加、啓発活動
10月	譲渡会、TNR、保護、譲渡
11月	譲渡会、TNR、保護、譲渡、セミナー
12月	譲渡会、TNR、保護、譲渡、イベント参加
1月	譲渡会、保護、譲渡
2月	譲渡会、TNR、保護、譲渡、イベント参加、セミナー、啓発活動

3 事業の実施体制

<p>「ねこちゃんず8」 15名 「ピコ22 (ニャンニャン)」 15名 ボランティアの人数 各団体15名。 共に常に連絡取り合って役割分担が決まっているのでうまくいった。</p>				
	実施内容	場所	期間	活動人数
①	捕獲	依頼場所	約2週間	1~2名
②	手術・医療	動物病院	約2日	1~2名
③	飼育・訓練	ホームベース・預かり宅	2週間~半年	4~5名
④	里親探し・譲渡	サイト・会場・保護猫ステーション	1日~3ヶ月	6名前後
⑤	アフターフォロー	里親宅	1~5ヶ月	1~2名
⑥	飼育相談	依頼主宅・保護猫ステーション	1日~1ヶ月	1~2名
⑦	保護猫ステーション運営	保護猫ステーション	無期限	5名
⑧	研修会・セミナー	各施設	2~3回/年	4~5名
<p>① ⑦は本団体が主体で実施 ② ⑥ ⑧は協働団体・ピコ22が主体で実施 ② ③ ⑤は両団体実施 ※それぞれのご依頼、ご相談は、保護猫ステーションにて受け付ける。 ※ホームベース：隔離場所・人馴れ、家猫修行の場所 ※保護猫ステーション：保護猫ステーション（保護猫と人の憩いの場）</p>				

4 反省点と課題

<p>保護猫ステーションを開設したことにより、保護猫活動を知っていただく機会となり、今まで以上に市民の方からの相談を多くいただきました。しかし運営側のキャパシティ以上の相談があったため、多くの案件で保護を待っていただくことや、運営（マンパワー・経費(特に医療費)の捻出)が難しく感じました。</p> <p>相談の内容は、TNRよりも子猫の保護についての連絡が多く、子猫を捕獲した場合は保護猫ステーションに移すため、大人の猫をホームベースから保護猫ス</p>
--

テーションに移すことが難しく大人の猫をフリーにすることができませんでした。

予算にマイクロチップを計上していましたが、子猫は去勢・避妊手術を行う月齢（6か月前後）よりも前に譲渡することが多く、マイクロチップをいれることができなかったため、子猫を含む保護猫の必要な医療費に使用しました。

ホームページと保護猫ステーションは、毎日保護猫の健康チェックやトイレ掃除・給餌などを行う必要があります。団体員だけのローテーションが難しく、限られた人数で事業を継続していく状況があります。またボランティアについては譲渡会やイベントのようなスポットのサポートだけでなく、安定的な運営のために日々の運営に関わるボランティアの募集や協力も今後検討が必要だと考えています。

5 今後の事業の展望

これまでの経験を活かしながら、より多くの方に協力していただき猫をとおして、動物に対する愛護の心を伝えられる活動を展開したいです。

事業の収入としては、寄付金や支援をしていただく企業や個人の方を増やす必要があると考えています。また、猫の怪我や病気の治療基金を設立し、小額でも定期的に寄付をして頂けるような整備と、猫に興味のある方・ない方にも、保護猫活動を知っていただくことが重要だと考えています。具体的には、今年度設立した保護猫ステーションやセミナー・譲渡会・イベントをとおして、啓発活動を続けていきたいです。

また、地域の方からの野良猫などの保護依頼を受けた場合に、捕獲後の検査・治療費・食事・トイレ等の費用は、TNRの補助金や譲渡金だけで賄うことができないことを理解していただき、少額でも地域の方にご負担いただけるよう、活動や費用について丁寧に説明していきたいと考えています。

6 役割分担（団体協働事業補助の場合のみ記入）

申請団体の担った役割 『ねこちゃんず8』	保護猫ステーションの運営、ホームページの運営、TNR、野良猫と地域猫の保護と譲渡、飼育相談、譲渡会。特に怪我や病気の猫の保護やケアを担当。
協働団体の担った役割 『ピコ22（ピコニャンニャン）』	野良猫の保護と譲渡。特に子猫や乳飲児を担当。譲渡会、飼育相談、啓発活動としての獣医師によるセミナー、イベントを開催。
協働することで得られた相乗効果等	保護依頼がとても多く、特に子猫の保護依頼が多かったため、役割分担の効果が発揮できました。また、一緒にセミナーや啓発活動をすることによって、より多くの市民の方に保護猫活動の周知ができました。他市には見られない活動協力ができているため、他市のボランティア団体さんの参考になるような活動もでき、良い影響を与えられたと感じています。

《収支報告書》

【収入】

(円)

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (② - ①)	内 訳
補 助 金・ 助成金	当補助金	500,000	500,000	0	
	その他				
自己資金		100,000	300,000	200,000	ねこちゃんず 8 : 200,000 円 ピコ 22 : 100,000 円
会費 (参加費等)		60,000	72,500	12,500	6,000×10 名 3,500×3 名 2,000×1 名
譲渡金		2,220,000	1,963,875	-256,125	70 匹
協賛金・寄附		250,000	1,371,445	1,121,445	一般 1,276,592 円 募金箱 94,853 円
その他		139,110	68,711	-70,399	Tシャツ、Bag バザー
合 計		3,269,110	4,276,531	1,007,421	

【支出】

(円)

	科 目	予 算 額 ①	支 出 額 ②	不 用 額 (①-②)	内 訳
補助対象経費	原材料費	525,000	218,637	306,363	エサ代
	消耗品費	100,000	174,080	-74,080	砂 77,666 円 ステーション 81,843 円 ベース 14,571 円
	委託費	300,000	473,885	-173,885	医療費 466,485 円 (マイクロチップ 205,590 円、手術代(補助なし) 191,950 円、TNR 医療 68,945 円) ゲート工賃 7,400 円
	修繕費	47,300	40,100	7,200	キャットゲート本体・部品
	印刷製本費	2,310	670	1,640	ステーション OPEN チラシ
	小 計	974,610	907,372	67,238	※支出額内訳 補助金充当額：500,000 円 自主財源：407,372 円
補助対象外経費	水道光熱費	60,000	41,792	18,208	電気 32,660 円 水道 9,132 円
	原材料	0	226,271	-226,271	エサ代
	通信運搬費	10,000	0	10,000	
	印刷製本費	8,000	17,120	-9,120	ピコ 22 チラシ
	委託費	2,166,500	2,943,532	-777,032	保護猫医療費 初期治療 858,395 円 他治療 2,085,137 円
	交通費	30,000	3,200	26,800	譲渡、譲渡会パーキング
	雑費	20,000	8,250	11,750	TNR 申請写真
	消耗品費	0	128,994	-128,994	砂 44,719 円 ステーション 69,719 円 ベース 14,556 円
小 計	2,294,500	3,369,159	-1,074,659		
	合 計	3,269,110	4,276,531	-1,007,421	

SPECIAL TALK

13:30-15:00

猫を家族に迎えること

矢作 聡志 先生

ワラビー動物病院 / グループ医療推進部長・獣医師

日本獣医畜産大学 獣医学科卒業。スタッフの中で一番獣医師としての経験が豊富であり、多くの患者様から信頼されている明るく元気な先生です。特に、「ビデオオトスコープ(耳の内視鏡)」を用いた外耳治療を得意としており、画像や動画を用いたインフォームが非常にわかりやすく好評。



14:30からは
質問コーナーも
ありますよ!

SPECIAL LIVE

15:50-16:20

津軽三味線演奏ライブ

清水 まなみ 氏

プロデューサー / Pico22代表 / 彩の国動物愛護推進員

戸田市在住の津軽三味線奏者。豊かな感性を生かしたオリジナル曲を中心に日本の民族音楽から現代音楽まで、ひたむきな熱い想いを三絃に込め、アートな世界へとレベルアップする三味線音楽を目指し活動中。Love&Careプロジェクトとして、保護猫と里親様をお繋ぎするボランティア活動をしている。



WORKSHOP



トルコのエブル体験



編み物



空き家相談会



選べるジュエリー



水引き



雑貨・スイーツ販売

PRESENT

13:15-13:25

チョコレート無料プレゼント

会場ステージにご着席のお客様にご協賛いただいたチョコレートを無料でご配りいたします!



Valentine's



まだまだ盛りだくさん!!
裏面も見てほしいにゃん

Cat & Art 2024

保護猫
活動支援
チャリティ

2024.2.11 SUN 11:00-17:00

入場無料 📍 戸田市文化会館展示室 / 2F

戸田市共創のまちづくり補助金交付事業


🌟 主催 / Pico22 (ピコニャンニャン)

🌟 協力 / ワラビー動物病院
シャトレゼ上戸田店
有限会社群泉堂
Car&Art! パートナース

🌟 後援 / 戸田市

🌟 デザイン / ばちこ (bachiko85)

LIVE & STAGE

Blue Lion English
キッズダンス&合唱
教育学英語教授法修士のKenneth A. Coleが2003年10月に戸田市で開校した子供の為の英語教室のキッズによる英語のダンスと合唱。市内のイベント出演多数!



埼玉サルサ戸田支部
サルサダンスレクチャー
1960年代後半にニューヨークのプエルトリコ移民が中心になり作られた比較的新しいペアダンス。ワークショップを開催して市民の皆さんと楽しく踊れるサルサを広げ、戸田市のイベントに参加しています。



ナーブアオカホークーフラススタジオ
フラダンス
戸田市で活動しているフラダンスグループ。南国ハワイの心であり、歴史でもあるフラ。この異国の伝統文化に敬意を払いつつ、真面目に楽しく、基礎からフラを学んでいます。



Hilal(ヒラル) / トルコ文化センター講師
カーヌーン&ダルブッカの演奏
カーヌーンは、トルコ地域に古くから伝わる伝統楽器。日本の琴に似ているが、両手の人差し指に爪をつけて演奏する。ダルブッカは、中近東で使用される酒杯型の片面太鼓。倍音の豊かな音色とそこから叩き出されるタンザルなリズムが特徴的です。

TIME TABLE

12:00	Blue Lion English
12:25	埼玉サルサ戸田支部
12:50	ナーブアオカホークーフラススタジオ
13:15	チョコレートのプレゼント
13:30	矢作獣医師によるトークライブ
14:30	教えて矢作先生
15:15	カーヌーン・ダルブッカライブ
15:50	清水まなみ津軽三味線ライブ
16:30	ステージ演目終了

※状況により、当日変更になる場合もあります。ご了承ください。

WORKSHOP




トルコのエブル体験(陶器に転写)
Atolye Safran / 戸田市



トルコアートの販売
トルコ文化センター / 東京



編み物、キット販売とワークショップ
戸田deあむあむの会 / 戸田市



街がすこし楽しくなる 空き家相談会
トダビース / 戸田市



パーツが選べるイヤリング
Namikataジュエリー / 戸田市(はねとくも)



スイーツ販売(マカロン・クッキー)
maru's cookie / 戸田市(はねとくも)



水引ワークショップ・販売
水引はねとくも / 戸田市(はねとくも)



アート展示・販売
久松知子 / 戸田市(はねとくも)



Design Clinic (デザイン相談)
ばちこ / 戸田市

※状況により、当日変更になる場合もあります。ご了承ください。

保護猫活動団体

予約制 譲渡会は不定期開催中




埼玉県戸田市で地域ねこ活動をしている『ねこちゃんず8(エイト)』です。2021年より、同志のみなさんと一緒に、近隣の野良猫のTNRや保護した猫の里親探しをしています。

☎ 048-287-3179
☎ 090-8961-4555
✉ nyan.chan2022@gmail.com
📍 戸田市中町1-34-10




Instagram




『保護猫と里親様』をお繋ぎするボランティアグループ「ピコ22」です。「Love & Care」をコンセプトに、仕事をしながら、メンバーが助け合って活動しています。

📍 51223 HONCHO BASE
戸田市本町5-12-23
埼京線 戸田公園駅(西口)徒歩3分



ご予約・お問合せ



保護猫情報ブログ



保護猫ステーション開設時の様子



怪我をした猫、保護猫ステーションの様子



寄付していただいた猫グッズ

